

GPA について

1. GPA 導入の趣旨

- ・本学では、学生の主体的な学修を支援し、その学修成果に関しては厳正な成績評価を行っています。
- ・さらに学生が自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく真剣な学習に役立つように、履修した全科目の成績の平均を数値で表した GPA (Grade Point Average/ グレード・ポイント・アベレージ) を算出しています。
- ・GPA は、学習の質を評価する成績評価の国際標準となっており、合格した科目だけではなく、不合格や受験不可の科目も成績算出対象となり、学業結果を総合的に判断する指標としています。したがって、学生には自分の履修に対して、より真剣に取り組むことが求められます。

2. GPA の計算方法

- ・GPA は、学生が履修した全科目の成績の平均を数値で表したものです。本学の GPA の算出式は下記に示すとおりです。

- ①履修登録科目の成績に応じて与えられた各科目のグレード・ポイントに、各科目の単位数を乗じて合計する。
- ②①で得られた値を履修登録科目の総単位数で除し、四捨五入により小数点第一位まで表示する。

$$\frac{(\text{科目の成績評点[GP]} \times \text{単位数}) + (\text{科目の成績評点[GP]} \times \text{単位数}) + \dots}{\text{登録科目の総単位数 (「D」「X」の単位数も含む)}}$$

※「P (認定)」は、計算式に含みません。

※不合格科目 (D 評価) や放棄科目 (X 評価) は、計算式に含みません。

- ③GPA は GPA 計算期日 (前期は 9 月中旬、後期は 2 月中旬) までに確定した成績に基づいて計算します。

3. GPA の活用

- ①教員が学生の履修指導に使用します。
- ②学期の GPA が 1.4 以下となった学生に対しては、本人を呼び出し、アカデミックアドバイザーによる注意と指導を行います。
- ③学期の GPA が 2 学期連続 1.4 以下を、または在学期間のうち、3 学期分がそれ以下と

なった学生に対しては、本人および保証人（保護者等）を呼び出し、アカデミックアドバイザーによる注意と指導を行います。

- ④学期の GPA が 3 学期連続 1.4 以下を、または在学期間のうち、4 学期分がそれ以下となった学生に対しては、学生の状況に応じ、成業の見込みを教授会で審議の上、退学を勧告する場合があります。
- ⑤GPA が高く、学業が特に優秀と認められる学生に対しては、教授会で審議の上、表彰を行うことがあります。
- ⑥進学時・就職時の推薦基準や、奨学金支給等の参考資料として活用します。

4. 履修中止制度について

- ・履修登録をしたものの、授業内容が学修したいものと異なっていたり、授業を理解するための基礎知識が不足していることなどの理由により、履修を継続することが難しく、単位の修得が困難であると考えられる場合、不合格となることで GPA が下がることを回避するために、履修中止制度が設けられています。
- ・履修中止は、授業開始 4 週目経過後に、本人がアカデミックアドバイザーに確認のうえ、教務課に理由書を提出し、問題がない場合のみ履修中止ができ、科目の登録が取り消されます。
- ・前期は、前期開講科目と通年科目、後期は、後期開講科目が履修中止の対象となります。ただし、必修科目および学部・学科で中止不可科目として指定した科目は履修中止対象外となります。
- ・履修中止を行わず、学期途中で履修を放棄した場合は不合格となります。不合格後に履修中止を行うことはできません。